

夏に増加する軽皮感染症のレプトスピラ

夏に増加する感染症である手足口病、ヘルパンギーナの流行が報道されています。これらの感染症は通常軽症で症状も特徴的で特に治療法もないため大きな問題となることは通常ありません。一方、西日本に大きな土砂災害を起こして、その後に記録的な猛暑となっているこの夏、注意しないといけないのがレプトスピラ感染症です。

レプトスピラ症は従来、秋に田んぼに入って感染する秋病み病として知られていましたが、衛生環境が改善し、農業の機械化、作業者の長靴、手袋着用など、経皮感染の機会が減少したことでその発生は減少しました。しかし、近年、河川でのレジャーによる発生が増えています。2000年、ボルネオ島で開催された冒険レースでは、レプトスピラの集団感染が起こり、日本からの参加者からも多くの発症者が出ました。それに加えて、近年、都市部での感染が増加してきており、これは、都心に生息するネズミがレプトスピラを保有しておりネズミの尿などで汚染された水などを介して感染する機会が増えたためと考えられています。東京都の自宅で感染し、重篤化した一例も報告されています¹⁾。レプトスピラ菌は、微好気もしくは好気的な環境で生育するスピロヘータで、中性あるいは弱アルカリ性の淡水中、湿った土壤中で長期間生存することができます。東南アジアでは洪水のあとにはレプトスピラ症が流行し、タイでは多い年には14000人が罹患し、360名が死亡することが報告されています²⁾。

本感染症はさかむけなどのわずかな創から経皮感染し、また経口感染もします。したがって洪水で山の獣が排出したレプトスピラ菌が従来存在しなかった都会に流出して、一見、きれいな水に見えても体を洗ったり、手洗いが不十分だと本菌に感染する可能性があります。また、巻き上がった塵埃の経口感染もありえます。本感染症は症状が非特異的で、感染したきっかけも自覚しにくく、本感染症はその重大さ緊急性が正当に認識されておらず専門家のあいだでは「neglected disease」とよばれています³⁾。

レプトスピラ感染症の症状は重症から軽症までさまざまですが、2～16日（通常は5～10日）の潜伏期ののち、悪寒戦慄を伴う突然の高熱、全身倦怠感、筋痛（腓腹筋圧痛が特徴的）、消化器症状（食欲不振、嘔吐、下痢、腹痛）、眼球結膜充血、頭痛（眼周囲痛を伴う）、関節痛など多彩な症状を呈して発症します（第1期）。この病期には血液からレプトスピラが分離されます。続く第2期には黄疸が出現します。血液生化学検査上は、直接ビリルビン優位のビリルビン高値を認めますが、肝逸脱酵素（ALT, AST など）の上昇は軽度です。腎障害を伴うと、タンパク尿、潜血尿が出現します。腎不全まで進行した場合には乏尿もしくは無尿となり、無治療のままでは死に至ります。また、肺出血（喀血、呼吸不全）、消化管出血（吐血）などの出血傾向も認めます。ただし、多くの場合、高度血小板減少、凝固異常、播種性血管内凝固症候群（DIC）を伴わないことが多いとされています。髄膜炎を伴う場合には、激しい頭痛、不穏、せん妄、項部硬直などを認めます。髄液からはレプトスピラが分離されます。心筋炎が起こると不整脈を認めます。

このように多彩な症状を呈し、当初からレプトスピラ感染症を疑うことは困難と考えら

れます。

今年7月に開催された第22回日本渡航医学会総会（愛媛）では「西表島で感染したレプトスピラ症の1例（本田なつ絵ら）」が発表され、ガイドが、ツアー終了時にレプトスピラ感染の説明をしたおかげで早期発見できたことが報告されています。しかし、早期診断にもかかわらず9日間も入院を余儀なくされています。

国内発症のレプトスピラ症は、海外や農村地帯だけでなく、都市部での感染例も報告されており⁴⁾、黄疸、腎機能障害、血小板減少等を呈する患者では、生活歴、職業などから、レプトスピラ感染の可能性を念頭におき診療にあたる必要があると思われます。

本症を疑ったら、保健所に連絡すると全血を用いたレプトスピラの抗原をPCRで測定してくれます。

菊池中央病院 中川 義久

平成30年8月3日

参考文献

1) 経皮感染するレプトスピラ - 水遊びに注意 -

<http://www.nobuokakai.ecnet.jp/nakagawa125.pdf>

2) 洪水後はレプトスピラ症に注意

<http://www.nobuokakai.ecnet.jp/nakagawa18.pdf>

3) 齋藤 光正：レプトスピラ感染症～ワイル病病原体発見から百年～. 日本細菌学雑誌 2014; 69; 589 - 600.

3) 三浦 邦治：黄疸、急性腎不全、ARDS を呈し、集学的治療により救命できた国内発症のWeil病の1例 . 日内会誌 2013; 102 : 3215 - 3218 .